

## イワショウブ

*Triantha japonica*

北海道(?)・本州(西限は広島県北東部), 日本固有。広島〔Ⅱ〕の産地の比婆山は隠岐島前とほぼ同経度。島根県内の確実な記録はない。鳥取〔Ⅰ〕は大山の上部(1,000m以上)にある。

1 チシマゼキショウ科 オモダカ目

島後布施地区(北谷)にある、或はあった事は確実であるが、まだ現状確認をしていない。山取りの植栽品で同定をしたことがある。

## スゲアマモ

*Zostera caespitosa*

【南限】北海道～本州(太平洋岸は宮城県以北, 日本海側は島根県以北), 朝鮮半島・中国北部。この分布記載(田中法生 2015)に従う。島根県の過去の記録がないので、島根県=隠岐と見なす。

2 アマモ科 オモダカ目

環境相の委託で島根県が行った調査(2006, 2007年)の報告書による。8ヶ所の調査地点のうち、西ノ島町宇賀と知夫村古海で確認された。環境省指定〔準〕。

## タチアマモ

*Zostera caulescens*

北海道～本州(太平洋岸は神奈川県以北, 日本海側は島根県以北), 朝鮮半島。前種と同様に環境省委託調査の結果に従う。地元島根県の過去の記録ははっきりしない。

3 アマモ科 オモダカ目

島根県の調査結果に拠ると、隠岐の島町蛸木の松島で確認されている。環境省指定〔Ⅱ〕。

## キンコウカ

*Nartheicum asiaticum*

北海道〔Ⅰ〕・本州(近畿以東)に分布。近畿は滋賀県〔他〕と三重県〔Ⅱ〕(南限)を意味する。最新の文献には島根県(隠岐)〔Ⅰ〕も含まれている。

4 キンコウカ科 ヤマノイモ目

島後の2ヶ所で確認していたが、1ヶ所は現状不明、残る1ヶ所も大きく減って残り数株の状況。極端な西限自生地であるが先行きが心配される。

## ヒオウギアヤメ

*Iris setosa*

【南限】北海道・本州(中部地方以北), 韓国・中国・ロシア・アラスカ・カナダ東部。緯度が隠岐と競合する産地は長野・群馬・栃木の3県であるが、いずれも自生地は隠岐より北であった。

5 アヤメ科 クサスギカズラ目

島後東部の2ヶ所の海岸で確認している。既に絶滅したが、40数年前に島前の松島でも確認している。隠岐の数少ない南限植物の一つ。

## ゼンテイカ

*Hemerocallis dumortieri*  
*var. esculenta*

分布は「本州中部以北・北海道・南千島, サハリン」に追加して、京都(北山)〔要注目〕・滋賀(伊吹山)〔希少〕・島根(隠岐)〔Ⅰ〕を付け加えなければならない。

6 ススキノキ科 クサスギカズラ目

島後に3ヶ所の自生地がある。内1つは断崖に数百株が群生し、絶滅の心配はない。最近のDNA分析で、隠岐のものは他の地域とは、はっきり差がある(内部的に)ことが明らかになった。

## シロウマアサツキ

*Allium schoenoprasum*  
*var. orientale*

「北海道・本州(中部以北・近畿北部・隠岐), サハリン・朝鮮半島・シベリア東部。」(布施静香 2015)。他に長崎県対馬の記録があるが、栽培起源の疑いもあるということで保留した。

7 ヒガンバナ科 クサスギカズラ目

全島の海岸岩場でやや普通に見られ、その個体数の多さは特筆に値する。他の地域のように絶滅危惧の状態ではない。

**ナメルギボウシ** *Hosta sieboldiana*  
*var. glabra*  
【南限】新潟(焼山)・長野(白馬岳・八方尾根・岩菅山・戸隠山)・富山(猫又山)・島根(隠岐)の4県のみに分布する。長野県の分布は北部中心で、最南部の産地は隠岐と同緯度。

**ヒロバスケ** *Carex insanae*  
北海道・本州(中部以北の主に日本海側)。日本固有。隠岐より西になる、山口〔I〕・大分〔不〕は信頼に足る情報を得られなかった。隠岐のすぐ東は鳥取県(東部の1ヶ所)〔準〕。

**ミチノクエンゴサク** *Corydalis orthoceras*  
本州(中部地方以北)、日本固有。日本海側は福井県、太平洋側は福島県〔II〕まで、加えて長野県・岐阜県と隠岐(島後)。南限は岐阜県と思われる。

**エゾキケマン** *Corydalis speciosa*  
【南限】北海道・本州北部・隠岐、朝鮮半島・中国・サハリン・シベリア東部。本州北部とは、青森〔I〕・岩手〔不〕両県のこと。隠岐は極端な西限かつ南限で個体数も多い。

**ホナガクマヤナギ** *Berchemia longiracemosa*  
本州の日本海側に分布。日本固有。西限は、島根県東部・隠岐・鳥取県西部でほぼ同じ位置である。3ヶ所共に西限自生地と見なす。鳥取県は分布が広いが島根県〔I〕ではごく稀。

**シウリザクラ** *Padus ssiiori*  
北海道・本州(東北・中部地方)、ウスリー・サハリン・南千島。但し、富山・石川・福井県には記録なく、長野・岐阜県には産する。南限は神奈川県(丹沢山地)。

**エゾイタヤ** *Acer pictum ssp. mono*  
北海道・本州(東北・北陸)・隠岐、朝鮮半島・千島列島・サハリン・アムール。1994年になって、京都府〔要注目〕若狭湾の海岸でも見付かった。

**8** クサスギカズラ科 クサスギカズラ目  
島後ではごく普通にあり分布も広い。島前では高崎山で見られる。最も南での確認は海士町豊田地区の一部(北緯 36° 6′)。

**9** カヤツリグサ科 イネ目  
島後の山地でごく普通に見られ、個体数も多い。スゲをやっている人が隠岐に来て一番驚くのがこの事実のようだ。島前では確認できていない。

**10** ケシ科 キンポウゲ目  
大満寺山上部(北東山腹)と神原高原、五箇大峯山に群生地がある。島後では他にもありそうに思われる。島前(西ノ島・知夫)にはヤマエンゴサク *C. lineariloba* はあるが本種は未確認。

**11** ケシ科 キンポウゲ目  
島後では広く普通に分布する。島前では高崎山系で見られる。隠岐のものは北海道のものとは差異があり、朝鮮半島南部の型とぴったり一致する。

**12** クロウメモドキ科 バラ目  
隠岐では近年になって気付かれた、島後の3地点。五箇大峯登山道・上西山地の廃田付近・都万塩の浜林道。

**13** バラ科 バラ目  
隠岐の古い記録(鷲ヶ峯, 1968)はあったが長く消息不明であった。やっと2012年に布施地区の神原高原で再発見をした。成木:1, 幼木:3。少し気を付ければ存続は可能だろう。

**14** ムクロジ科 ムクロジ目  
島前島後とも海辺近くでやや普通に見られるが、認識している人は少ない。山地に現れるアカイタヤ *ssp. mayrii* も日本海側の種で島根県(全域)が西限である。

## ハマアカザ

*Atriplex subcordata*

海岸植物で、分布は北海道・本州(日本海側は島根県まで・太平洋側は三重県まで)、千島列島・ウスリー・樺太・朝鮮。中国地方では他に山口県の古い記録があるが信頼性に欠ける。

## エゾアジサイ

*Hydrangea serrata*  
var. *yesoensis*

北海道・本州(島根県以東のほぼ日本海側)、日本固有。隠岐では普通にあるが島根県本土側では東部の一部にごく稀、経度は島前と同じ位置。

## ユキグニミツバツツジ

*Rhododendron lagopus*  
var. *niphophilum*

本州(秋田県～島根県東部・隠岐島の日本海側)、近畿では一部瀬戸内海側まで。日本固有。島根県本土側ではごく稀で(仁多郡、島根半島?)、隠岐とはほぼ同経度。

## エゾノカワラマツバ

*G. verum* ssp. *Asiaticum*  
var. *trachycarpum*

ヤエムグラ属 *Galium*。分布は南千島・北海道・本州、シベリア～ヨーロッパと広い。ただし西日本ではごく少なく、滋賀・京都・広島(北東部)まで。広島県の産地は隠岐と同一経度。

## ハマベンケイソウ

*Mertensia maritima*  
ssp. *asiatica*

【南限】北海道・本州(日本海岸は隠岐以東、太平洋岸は東北地方と千葉県〔絶〕)、サハリン・千島列島・オホーツク海沿岸……。

## クガイソウ

*Veronicastrum japonicum*  
var. *japonicum*

本州(青森県～京都府・紀伊半島・隠岐)。島根県は隠岐を含め全てナンゴククガイソウ var. *australe* とされていたが、調べてみたらほとんどがこちらの方だった。

## チョウジギク

*Arnica mallotopus*

本州(岩手・秋田～島根の主に日本海側)・四国(剣岳)、日本固有。県内〔I〕の他の産地は仁多郡で隠岐とはほぼ同経度。鳥取県〔II〕は大山まで。四国の産地は不詳、徳島県とすれば隠岐より東。

## 15 ヒユ科

ナデシコ目

県内の産地は島根半島だけなので、隠岐と同位置と考える。つまり両所共に“西限”。全4島で確認しているがやや稀という感じ。寒地系だけあって、東向きで日蔭になりやすい海辺でよく見る。

## 16 アジサイ科

ユキノシタ目

隠岐にもヤマアジサイ var. *serrata* は見られるが、多いのはエゾアジサイの方。時に、どちらとも言えない中間形も現れ、3タイプが共存している。

## 17 ツツジ科

ツツジ目

隠岐全島にごく普通。一部の高地でダイセンミツバツツジ var. *lagopus* も混じる。

## 18 アカネ科

リンドウ目

中国地方では、隠岐と広島県の一部だけに産する。隠岐のものはほとんどが白花の品種チョウセンカワラマツバ f. *album* である。ごく普通にあり(特に海岸近く)、その多さに驚く。

## 19 ムラサキ科

ムラサキ目

隠岐(島後)にあることは昔から知られている。数地点の情報があるが筆者は現地確認をしたことがない。撮影直後の写真で同定した経験のみ。定着しているのかが気になる。

## 20 オオバコ科

シソ目

島後では、個体数は少ないものの点々と複数ヶ所に分布している。島前では高崎山のみで確認。

## 21 キク科

キク目

島後布施地区の北谷だけに僅かに残っている(10数株)。

- タケシマシウド** *Dystaenia takashimana* 22 セリ科 セリ目  
 【南限】 隠岐諸島(中ノ島)と韓国の鬱陵島だけに生育。最近のDNA分析によって、隠岐と韓国のものに微妙な差があることが判った。もちろん、外部形態上の差はなく同一種。  
 海士町に4ヶ所(豊田・宇受賀・北分・崎)の自生地がある。豊田地区以外は量も少なく徐々に減って来ている。隠岐の他の島で見付からないのが不思議である。里地の農耕地周辺を好むのに。
- エゾノヨロイグサ** *Angelica sachalinensis*  
*var. sachalinensis* 23 セリ科 セリ目  
 分類上の見解が統一されてないので、旧来の同定結果と分布記録に従う。北海道・本州(中部以北と伯耆大山)・隠岐、朝鮮・中国(東北)～オホーツク。  
 古くから都万の津戸・蛸木地区で知られていた。数株を現状確認しているが、産地・個体数共大きく減っている。その後(2016)都万地区佐山の林道で2株を確認した。
- マルバゴマキ** *Viburnum sieboldii*  
*var. obovatifolium* 24 ガマズミ科 マツムシソウ目  
 本州(北部および日本海側)、日本固有。中国地方では、鳥取県と隠岐の記録のみがある。  
 検証が不十分であるが、過去の文献記録(大満寺山)を信用する。隠岐ではゴマキ *var. sieboldii* と共存しているようである。
- ヒモカズラ** *Selaginella*  
*shakotanensis* 25 イワヒバ科 イワヒバ目  
 最新図鑑の分布記載が「北海道・本州(島根県隠岐・広島県以東)、ロシア(極東)・朝鮮」となっていた。西日本(近畿地方以西)では極端な隔離分布をすることで知られている。  
 2006年に鷲ヶ峯で発見。西日本では5地点めの産地。奈良県(大峰山)〔I〕・京都府(青葉山)〔II〕・広島県(比婆山)〔I〕・鳥取県(三徳山)〔II〕。なお、広島県の産地は隠岐より僅かに西。
- オオエゾデンダ** *Polipodium vulgare* 26 ウラボシ科 ウラボシ目  
 北海道・本州(青森県・秋田県・鳥取県・島根県隠岐)、ロシア・朝鮮(鬱陵島)・中国・ヨーロッパ。秋田県はごく最近の発見。南限は昔から知られた鳥取県〔I〕の1小群集(隠岐よりも東)。  
 西ノ島に多く、減っているとは言え今でも7ヶ所以上で確認できる。海士と島後はそれぞれ1ヶ所のみ残っている(知夫の記録もあり)。詳細は不明だが地方RDBでは、岩手県〔I〕、福島県〔不〕。
- △ **ハイネズ** *Juniperus conferta* \*1 ヒノキ科 ヒノキ目  
 主に北海道・東北・北陸地方に分布するが多くはない。西日本では極めて稀で、県本土では出雲市湖陵町の記録がある程度。他には、京都府・三重・和歌山・鹿児島県〔準〕のみ。  
 隠岐では全4島に広く分布し、もっと注目してよい植物。海岸の岩場でやや稀に見られる。多いと思ったのは、島前の松島と五箇重栖湾。なお、九州の産地は種子島だけかもしれない。
- △ **クロベ** *Thuja standishii* \*2 ヒノキ科 ヒノキ目  
 本州(主に中部地方以北)・四国、日本固有。西日本(近畿以西)では、島根(隠岐・鱒淵寺)・鳥取〔絶〕・岡山〔I〕・愛媛(石鎚山系)〔II〕・高知〔II〕の各県に隔離分布。  
 島後山地の露岩地で時折見られる。点的ではあるが稀というほどではない。深山で大きな群生に出会ったこともある。かつて島前の焼火山にも少数あったというが今は絶滅。

△ マルバウマノズクサ *Aristolochia contorta*

山形〔Ⅰ〕から島根〔Ⅰ〕の日本海側、長野〔Ⅱ〕・群馬〔Ⅰ〕に点在。その後長崎県の対馬〔Ⅰ〕の無人島(黒島)でも発見された(1999年)。国外では、朝鮮半島・中国北部・ウスリー。

\*3 ウマノズクサ科 コショウ目

隠岐で現状確認できるのは、海士町豊田・東・保々見地区(計5ヶ所)と島後中村(1ヶ所)のみ。島根県では他に松江市大庭町で再確認されている。西ノ島にもあったが消滅した。

△ ウスバサイシン *Asarum sieboldii*

本州(中部地方・関東地方南部～中国地方)・四国・九州、中国。隠岐より西の産地は、広島・愛媛・長崎(対馬)〔Ⅰ〕県。熊本〔不〕・高知〔不〕は無視。県内東部の産地は隠岐とほぼ同経度。

\*4 ウマノズクサ科 コショウ目

島前の高崎山と島後の大満寺山系はよい産地。他の場所でも見られるが少ない。

△ ウラシマソウ *Arisaema thunbergii*  
*ssp. urashima*

北海道(西南部)、本州、四国。日本固有。県内の産地を除き隠岐より西は、広島県(少ない)・山口〔Ⅰ〕・愛媛〔Ⅰ〕県のみ。隠岐以西では急に減り、九州にはない?隠岐のすぐ東は鳥取県〔準〕。

\*5 サトイモ科 オモダカ目

全島で時々見かけるがそう多くはない。海岸近くの林内や林縁。

## △ コバノイラクサ

「北海道・本州(近畿以北)、朝鮮半島・中国に分布」とされて来たが実は、徳島〔Ⅰ〕中部(木沢村)・高知〔Ⅰ〕東部(物部村)・福岡〔Ⅰ〕県の離島(沖ノ島)にも自生がある。

\*6 イラクサ科 バラ目

中国地方では、西ノ島(高崎山系)と大森島(島後)のみにある。西限は福岡県の沖ノ島、南限は高知県。高崎山には群生地があったのだが、2007年の豪雨災害で極端に減ってしまった。

△ ハマナス *Rosa rugosa*

北海道・本州(日本海側は鳥取県以東、太平洋側は千葉県まで)、北東アジアの温帯～亜寒帯。隠岐は県〔Ⅰ〕本土の産地(島根半島)よりやや東。南限は鳥取県〔Ⅱ〕と千葉県〔準〕で同緯度。

\*7 バラ科 バラ目

地元では昔からよく知られていた。植栽起源のものと区別しなければならないが、現在島後東部の海岸で現地確認している。人里遠く道もない場所。かつては島前にもあったらしい。

△ カラスシキミ *Daphne miyabeana*

北海道・本州(隠岐島および鳥取県大山以東の日本海側)。という事になっているが、広島〔準〕県の産地が僅かに西である。島根県〔Ⅱ〕の他の産地は県東部の中国山地に1ヶ所。日本固有。

\*8 ジンチョウゲ科 アオイ目

島後の深山で時々見かけるが、全国的な希産種であるとは知らなかった。今後は分布や生態にもっと注意を払うべきだ。

△ ハイハマボツス *Samolus parviflorus*

北海道・本州、北アメリカ。稀なものとされており、近畿以西では、滋賀〔Ⅱ〕・兵庫〔絶〕・島根〔Ⅰ〕・山口(ごく稀)県に限られる。日本海側沿海地が中心であるが、南限は例外的に千葉県〔Ⅱ〕。

\*9 サクラソウ科 ツツジ目

県内では島根半島で僅かに知られているが、隠岐では普通種に近い。特に島後では普通の雑草の印象もある。隠岐を代表する貴重種の一つ。

- △ **タマバシロヨメナ** *Aster leiophyllus*  
*var. ovalifolius* \*10 キク科 キク目  
山形・新潟県を中心とした日本海沿岸，朝鮮半島南部。近畿北部～山陰にも分布する。中国地方で確実な産地は松江市と鳥取県。西限は長崎県対馬である。  
しばしば狭義のシロヨメナ *var. leiophyllus* と混生し中間形も現れると言うが，隠岐のものはほとんどがタマバ(玉葉)，典型的なシロヨメナを見たことがない。よくある「北陸 ⇒ 隠岐」分布の一例。
- △ **オクモミジハグマ** *Ainsliaea acerifolia*  
*var. subapoda* \*11 キク科 キク目  
本州(東北～近畿北部・山陰東部まで)・隠岐・対馬，朝鮮半島・中国。母種のモミジハグマ *var. acerifolia* は，本州(東海・近畿以西の太平洋側)・四国・九州の分布で日本固有。  
大満寺山(中腹以上)・神原高原などに稀ではない。島前では高崎山や焼火山の頂上付近でやや稀。知々井岬(海士)は海拔最低で50m。島根県本土側の産地は隠岐より僅かに西。
- △ **ホタルサイコ** *Bupleurum longiradiatum*  
*var. breviradiatum* \*12 セリ科 セリ目  
分布は，北海道～九州，サハリン・ウスリーとなっているが，中部地方以南ではごく稀。中国地方では広島県〔Ⅰ〕東部と隠岐〔Ⅱ〕のみ。西限は宮崎県〔Ⅰ〕の高山で九州唯一の隔離分布地。  
隠岐では奇妙に海辺で見かけることが多い。多少内陸では国賀摩天崖上部と高崎山頂上付近に群落がある。西ノ島・海士では複数ヶ所で確認しているが，知夫や島後では未確認。
- △ **セリモドキ** *Dystaenia ibukiensis* \*13 セリ科 セリ目  
本州(主に日本海側，隠岐・近畿北部～青森県)。日本固有。近年になって広島県〔準〕でも発見された。近畿北部とは，兵庫県〔準〕・京都府〔準〕。  
ありふれてはいないが，島後と西ノ島では広く見られる。海士では1ヶ所(知々井岬)のみ，知夫は未確認。
- △ **キンギンボク** *Lonicera morrowii* \*14 スイカズラ科 マツムシソウ目  
北海道(西南部)・本州(東北地方および日本海側)・四国，韓国(鬱陵島)。鳥取〔Ⅱ〕・島根〔Ⅱ〕(隠岐のみ)から山口県〔Ⅰ〕(萩市)へ跳ぶ。四国の記録は愛媛県〔不〕であるが現状不明。  
全4島，海岸の岩場でやや普通に見られる。高崎山(西ノ島)では，海拔300m以上の地点でも時に現れる。